

2025. 5. 29 国際婦人年連絡会

男女半々議会をめざして30余年

全国フェミニスト議員連盟 誕生から現在まで

BY 三井マリ子（同連盟世話人）

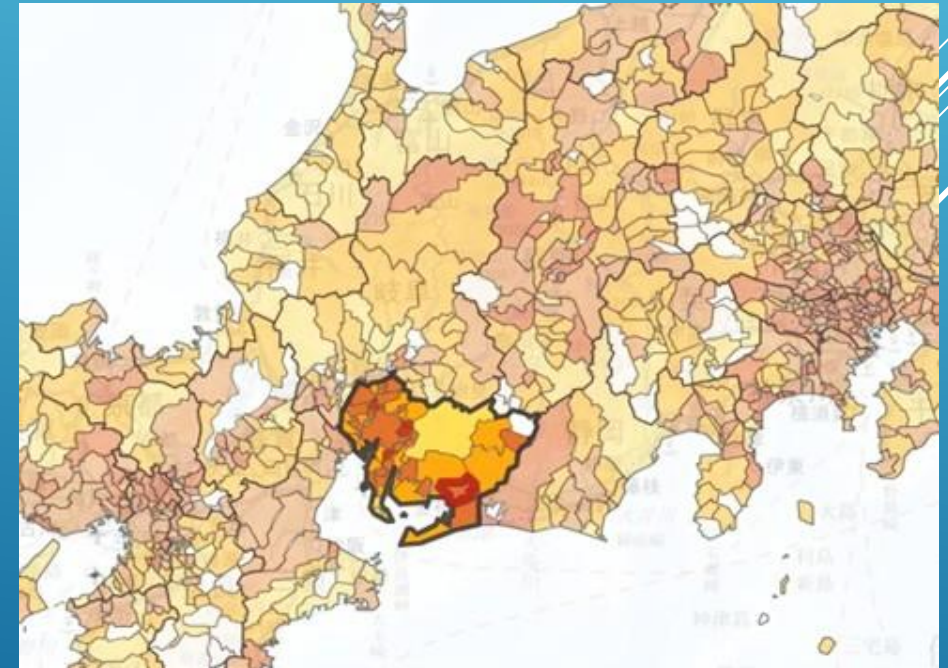


総会
パワーアップ
2025/5/18.19





ゼロ撲 愛知県豊根村訪問 2025/1/20





ロビーイング

政策立案への働きかけ＝抗議
要請行動

- 2025年 外務省
- 2024年 内閣府
- 2023年 法務省・入管庁
- 2017年 宮城県知事



デモ、アクション



全国フェミニスト議員連盟は

1992年2月15日

女性議員を増やし

女性の声が政治に反映する社会

をつくるために

超党派の市民・議員で結成された

誕生まで

- 1919年 新婦人協会（平塚らいてう）政治集会への女性の参加を求めて請願書提出
- 1924年 婦人参政権獲得期成同盟会（久布白落実）前年関東大震災
- 1925年 婦選獲得同盟（市川房枝、久布白落実）
- 1945年 衆議院選挙法改正され女性に参政权：帝国臣民たる男子➡帝国臣民たる男子
- 1946年 衆議院女性39人当選（大選挙区制、連記制）。憲法制定
- 1947年 衆議院女性15人に激減（中選挙区制）
- 1975年 国際婦人年スタート、国際婦人年をきっかけとして行動を起こす女たちの会（樋口恵子、中島通子、駒野陽子）、国際婦人年連絡会（市川房枝）
- 1979年 わたしたちの男女平等法をつくる会（中島通子、田中寿美子）
- 1980年 世界女性会議@デンマーク。政府「女性差別撤廃条約」署名。批准には3分野の法制度改正が条件。激しい女性運動
- 1985年 世界女性会議@ケニア。男女雇用機会均等法制定、女性差別撤廃条約批准
- 1986年 ノルウェー「女の内閣」世界を震撼させる
- 1989年 都議選、参院選で女性議員増。ノルウェー視察（クオータ制、男女平等オンブッド）
- 1991年 女性のみのお茶くみ撤廃運動
- 1992年 「お茶くみの政治学」出版を機に女性議員を増やす目的の新組織へ（中嶋里美、三井マリ子）

呼びかけ人20人

1992年2月14日

あすかい佳子（京都向日市議）

河西のぶみ（狛江市議）

かねがえ洋子（茅ヶ崎市議）

小枝すみ子（千代田区議）

住田景子（小平市議）

土井節子（田無市議）

中嶋里美（所沢市議）

藤田一枝（福岡県議）

村山ひろさだ（文京区議）

山口幸子（北海道広島町議）

井上睦子（八王子市議）

片野令子（練馬区議）

亀倉順子（国分寺市議）

佐藤ひろこ（中野区議）

高里鈴代（那覇市議）

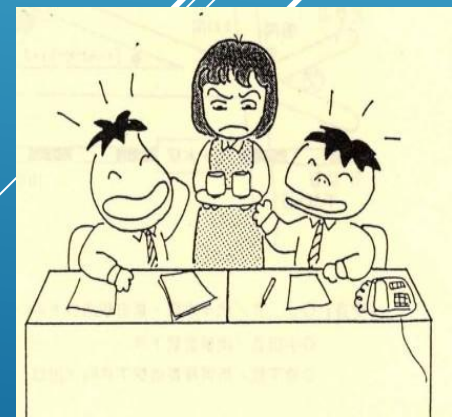
富沢よし子（杉並区議）

広田信子（江東区議）

三井マリ子（東京都議）

山口彩子（堺市議）

吉井玲子（堺市議）



全国フェミニスト議員連盟

Alliance of Feminist Representatives



AFER（頭文字をとってアファー）

暫定的特別措置アファーマティブ・アクションのアファーにかけた。

機関紙名をAFERと名づけて広めようとした。Homepage <https://afer-fem.org/>

活動

結成のよびかけ（1992年2月15日）より

- 1 女性の議員ゼロの自治体をなくす運動。すべてのレベルの女性議員率を最低30%まで上げる運動
- 2 既成の政策、法律、条例を男女平等の視点で点検
- 3 女性がいきいき生きられるあらゆる環境づくりの政策立案
- 4 情報交換、交流
- 5 日常的にはゆるやかな連合、連帯活動。超党派とする

誕生前後

- 中央線荻窪駅前の銭湯に集まって起案した
- 1992年2月14日バレンタインデーが出産予定日だった
- 組織名のフェミニストの言葉に異論反論。見切り発車。後に名称を公募したが応募なかった
- 男女平等と女性解放を願い運動する人をフェミニストと呼び、男性も会員に
- 「ノルウェーのクオータ制（40%）を日本にも」を大目標に。
- 1985年「ナイロビ将来戦略」でクリティカル・マス30%が最低目標とされ、30%という数字を活動目標に入れた（50%か40%か30%か。議論沸騰し現実路線に）
- 全国で女性議員を増やそう、と全国にこだわった。全国各地で夏合宿が恒例イベントに
- 代表は2人制。アルファベット順に並べる。2年交代。多くの女性がリーダー経験を積もう
- 阿佐ヶ谷駅近くの三井マリ子事務所（都議だった）が作戦・準備の場
- 初代代表は中嶋里美、三井マリ子。決定の場は世話人会（月1）、会費年1万円
- 平等社会をつくるのだから「先生」は使わない、対等に言い合い合意形成、会議はオープン



お茶くみの政治学から
全国フェミニスト議員連盟へ

ふやせ！フェミニスト議員

全国フェミニスト議員連盟結成集会

1992年2月15日（土） 於・婦選会館

プログラム

1. 開会あいさつ 広田信子（江東区議）
2. 記念講演 中山千夏さん（作家・前参議院議員）
3. クォータ（割当制）について 三井マリ子（東京都議）
4. アルゼンチンの法改正について 中嶋里美（所沢市議）
5. フェミニスト議員連盟について 小枝すみ子（千代田区議）
6. 質疑応答
7. ブックレット「お茶くみの政治学」紹介 村山ひろさだ（文京区議）
8. フェミニスト議員紹介
9. 閉会あいさつ 井上睦子（八王子市議）

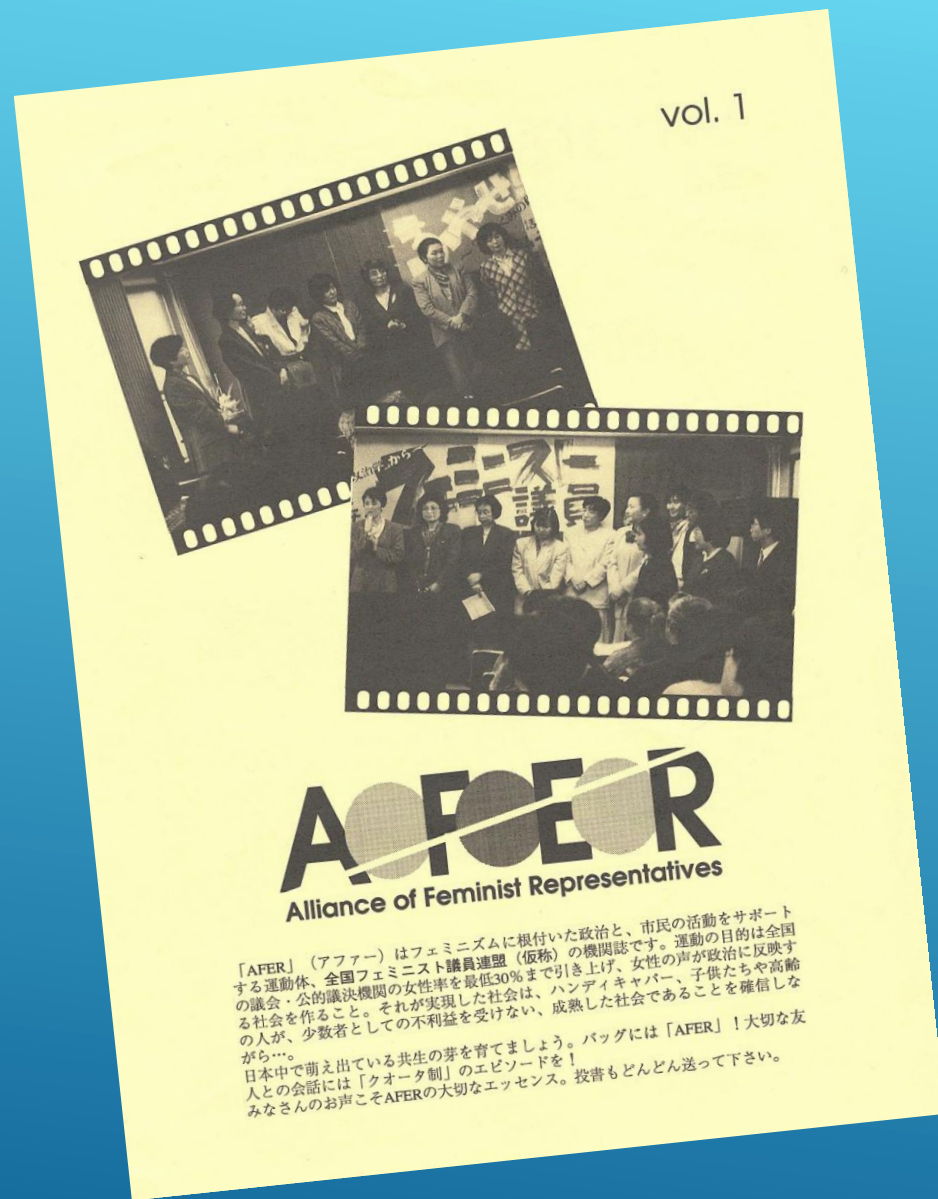
主催：「お茶くみの政治学」実行委員会

〒166 杉並区阿佐谷南2-19-11-101 三井マリ子事務所気付



・集会終了後、懇親会を持ちます。
ホテルサンルート2階、中国料理
「飛鳥」で。会費：5000円位。
参加希望者は書籍販売の遠藤真子ま
で申し込んで下さい。

「女のかるた」より



AFER 1号



最初のリーフレット

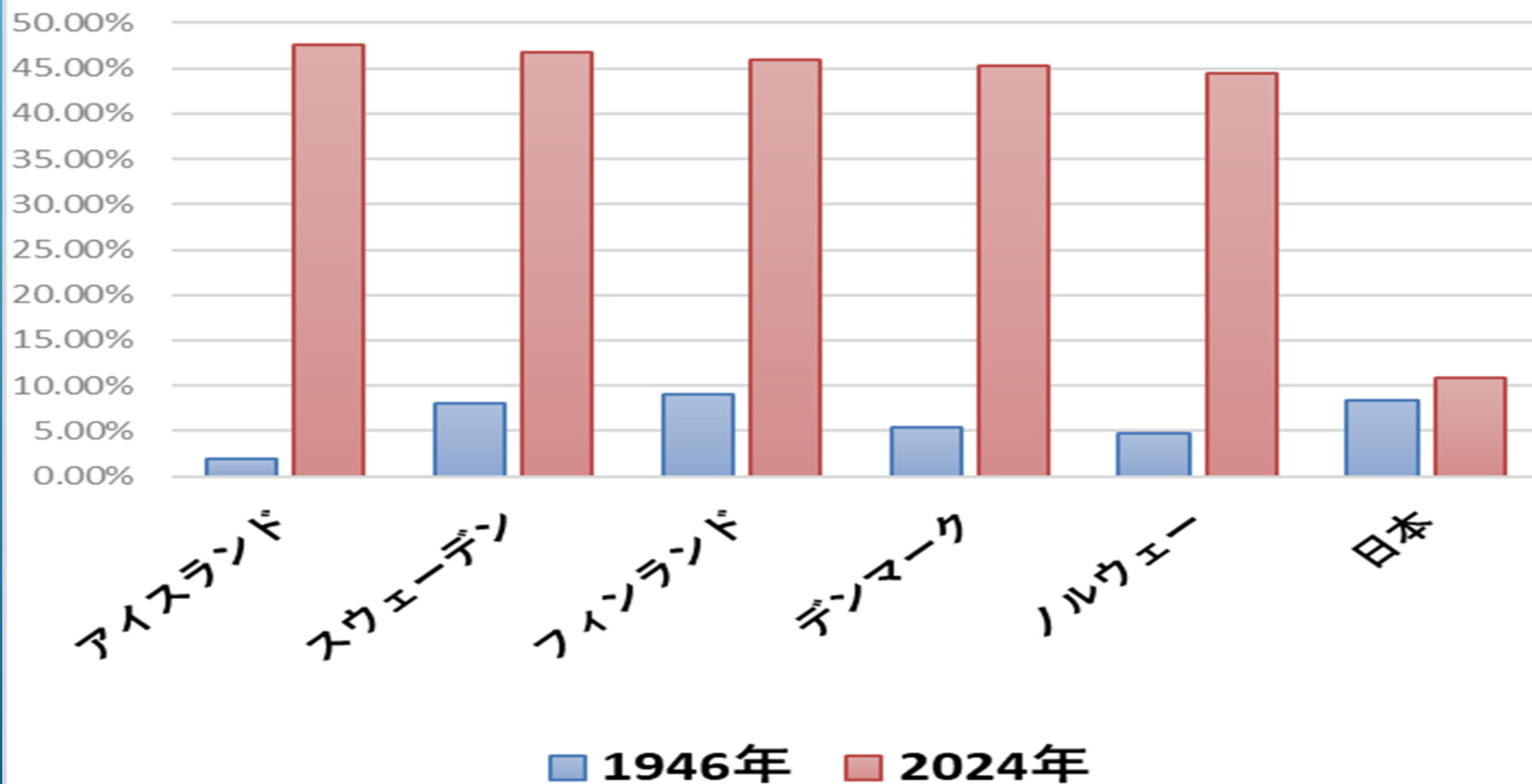
設立後の主な活動

- 1993年 全国の自治体の男女平等度を調査してランキングを発表
- 1995年 北京の国連・世界女性会議でフェミ議連ワークショップ（中嶋・三井）。帰国後シンポジウム「北京行動綱領を読む」
- 1998年 マニラで女性議員増の国際会議。女性と政治キャンペーン開始
- 1999年 女性が立候補した富山県利賀村に。地区割の慣行、無投票当選。「ゼロ撲」運動へ
「『女はひっこめ』と、いろんな所から言ってくる」「親戚は『村におれんようになる』『村八分になる』と言う」「新聞は『女が出た』と茶化すひどい記事を書いた」
- 2015年 衆院の比例枠増、女性候補の少ない政党への政党交付金減額など制度変革を要望（総務省）
『自治体議会における性差別体験アンケート報告集』
- 2018年 長野県川上村訪問（ゼロ撲：矢澤江美子、小磯妙子、陣内泰子、伊藤正子）。朝日新聞「マケ」を社会問題化。翌年、村史上初の女性議員誕生。ゼロ撲運動の成果少しずつ
- 2019年 「政治分野の男女平等に向けて選挙制度改革を求めます」総務省に要望書
- 2022年 『議会におけるいじめ・ハラスメント調査報告書』
- 2023年 「女性ゼロ議会」調査：統一地方選前254自治体、1719の15%。41都道府県に。選挙のあった「女性ゼロ議会」115の約3割がゼロを脱したが「女性ゼロ議会」200以上。青森、福島は30%以上

女性をみくびる制度慣習意識に
異議申し立てをし、
女性の連帯と女性候補の応援を
する旅を続けて30年余い

日本は78年間いったい何をしていたのか？

国会（第1院）の女性議員の変遷



2024ジェンダーギャップ上位10カ国と選挙制度

| 順位 | 国 | 選挙制度 |
|-----|----------|---------|
| 1 | アイスランド | 比例代表制 |
| 2 | フィンランド | 比例代表制 |
| 3 | ノルウェー | 比例代表制 |
| 4 | ニュージーランド | 比例代表制中心 |
| 5 | スウェーデン | 比例代表制 |
| 6 | ニカラグア | 比例代表制 |
| 7 | ドイツ | 比例代表制中心 |
| 8 | ナミビア | 比例代表制 |
| 9 | アイルランド | 比例代表制 |
| 10 | スペイン | 比例代表制 |
| | | |
| 118 | 日本 | 小選挙区制中心 |

女性差別の小さい国の選挙制度は比例代表制



鮮やかな歴史

比例代表制は1889年から。1902年に女性議員1号。今、男女半々
ノルウェー・オーモット市(人口4500人ほどの山間の村)

左：1888－1889年の議会(小選挙区制)。右：最近の議会(議員19人 5政党 女性11)

世界も日本も人口の半分は女性。

男女平等への旅は、人口の半分の幸せにするための壮大な営み。

北欧など男女平等先進国の歩みは語る――女性議員増は、ハンディを持つ人、貧しい人、少数派の人などの権利擁護につながる。

日本は男性議員だけの「女性ゼロ議会」200以上。

女性ゼロ議会がひとつでも残っている限り、男女平等を語るのはむなしい
男女平等と女性解放の旅を続けよう

Sisterhood is powerful and international!